

〔指定管理者制度導入施設〕〔B調書〕

事業評価調書〔途中評価〕（令和4年度）

1. 施設の名称等

施設名称	田代原野営場
所在地	雲仙市千々石町丁字大平3387-2

事業所管	県民生活環境部	自然環境課
課(室)長名	笹淵 紘平	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	—	
	施策	—	
	事業群	—	

2. 施設の概要

設置年月日	平成 13 年 7 月 12 日					
設置法令等	自然公園内県営公園施設条例（昭和32年5月24日）					
設置目的	田代原の多様な自然を活かした野営場、休憩施設として設置し、自然観察、登山等国立公園利用拠点とする。また、自然情報の発信基地としてトレイルセンターを設置している。					
利用対象者等	主な利用者：県民及び県外観光客、登山者など					
施設内容	<p><野営場> 管理棟（木造2階建）1棟、トイレ（木造汲取式）2棟、トイレ（木造水洗式）2棟、炊事棟（木造平屋建）3棟、テントサイト15箇所、芝生広場5箇所、駐車場（As舗装）800㎡、木橋1箇所、外灯施設18箇所（太陽電池）、附属施設（受水槽）</p> <p><トレイルセンター> センター棟（木造平屋建）1棟、木道73.8m、木橋1箇所、身障者用駐車場67.6㎡（芝、プロテクター）</p>					
施設の利用料金体系	区分		単位	利用料金	備考	
	食器類	パーベキューセット	1組	1,000円		
コッヘル		1組	800円			
ハンゴ		1個	200円			
大鍋		1組	200円			
食器セット		1組	100円			
鉄板		1枚	500円			
照明具		ランタン(電池入り)	1組	500円		
寝具類		毛布	1枚	250円	一式 1,000円	
		マット	1枚	500円		
		折りたたみベッド	1台	300円		
利用料	一時利用	日帰りの場内利用	日帰り野営1人につき	100円	中学生以下除く	
		小学生及び中学生		100円		
	宿泊	上記以外(未就学児を除く)	1泊野営1人につき	300円		
		ファミリーテント(5人以上)	1張1泊	2,500円		
	貸出しテント	宿泊	フリーテント(3人以上)	1張1泊	1,500円	
			ファミリーテント(5人以上)	1張1回	1,250円	
		フリーテント(3人以上)	1張1回	1,250円		
テントサイト	宿泊	1張1泊	1,000円			
	一時利用	1張1回	500円			
	シャワー	1回につき	100円			

類似施設の 設置状況	ながさき県民の森(長崎県)				大崎自然公園キャンプ場(川棚町)			
	施設	内容	宿泊料金	一時利用料金	施設	内容	宿泊料金	一時利用
	オートキャンプ場	平屋建 バンガロー	8,900円	3時間まで 2,200円	オートキャンプ場	常設テント	5,500円	/
		二階建 バンガロー	5名まで11,510円 1名追加毎1,030円	1時間増毎 730円		テント持込	4,500円	
		常設テント	4,700円	3時間まで 1,560円 1時間増毎 300円	一般キャンプ場	大人	600円	/
		芝張サイト	3,130円 バイク1名1,030円	3時間まで 1,030円 1時間増毎 300円		小人	400円	
		一般キャンプ場	平屋建 バンガロー	6,800円	3時間まで 2,200円	R3年度利用者数	6,902人	
	二階建 バンガロー		5名まで8,900円 1名追加毎1,030円	1時間増毎 730円	指定管理者制度 導入	平成18年4月1日～		
	常設テント		2,080円 バイク1名1,030円	3時間まで 510円 1時間増毎 100円	指定管理者	一般社団法人 川棚町観光協会		
	青少年キャンプ場	バンガロー	5名まで2,610円	1回1,030円	公募・非公募	非公募		
		常設テント	1,560円	1回410円				
	R3年度利用者数	9,818人						
	指定管理者 制度導入	平成18年4月1日～						
	指定管理者	一般社団法人 長崎県林業コンサルタント						
	公募・非公募	公募						

区 分 (単位：千円)		平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)
財源	国庫	0	0	0	0	0
	その他(環境保全使用料)	946	124	0		
	一般財源	1,380	2,932	2,018	1,589	1,380
事業費<A>		2,326	3,056	2,018	1,589	1,380
内訳	管理運営負担金	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
	その他(修繕費)	946	1,676	638	209	0
	人件費	0	0	0	0	0
合計<C=A+B>		2,326	3,056	2,018	1,589	1,380
単位あたりコスト		68	94	53	39	37

(説明) 「利用者100人あたりの費用」= C ÷ (利用者数 ÷ 100)

3. 指定管理者の概要

指定管理者 の名称等	《所在地》 雲仙市吾妻町牛口名714		
	《名称》 雲仙市		
	《代表者氏名》 市長 金澤 秀三郎		
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日		
業 務	①施設(設備)の維持・修繕等 ②キャンプ場及びトレイルセンターの運営業務		
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法
			■ 公募
			非公募

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の 達成状況	① キャンプ場利用者数	(目標値の根拠)		なし			
	② トレイルセンター利用者数	過去3カ年の利用者数実績 の平均値とする		なし			
	③						
	実 績		平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)
		単位					
	①	a 目標値	人	874	930	1,102	1,254
		b 実績値	人	1,038	1,212	1,511	1,976
		c 達成率b/a	%	118	130	137	157
	②	a 目標値	人	2,388	2,406	2,347	2,227
		b 実績値	人	2,395	2,025	2,261	2,140
c 達成率b/a		%	100	84	96	96	
③	a 目標値						
	b 実績値						
	c 達成率b/a	%					

指定管理者 の収支状況	事業計画 (R3)		平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)
	(千円)	実績-計画					
利用料金	700	572	554	733	1,005	1,272	1,138
県負担金	1,380	0	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
その他	2,278	▲ 642	2,015	1,899	1,817	1,636	1,846
収入計a	4,358	▲ 70	3,949	4,012	4,202	4,288	4,364
支出b	4,358	▲ 70	3,949	4,012	4,202	4,288	4,364
うち人件費	2,742	364	2,846	2,906	3,043	3,106	2,742
収支a-b	0	0	0	0	0	0	0
配置職員数	常勤 6	0	常勤 5	常勤 6	常勤 6	常勤 6	常勤 6
(人)	非常勤 12	▲ 3	非常勤 0	非常勤 7	非常勤 9	非常勤 9	非常勤 9

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したものとしては、「2 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

5. 令和3年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の 状況	計 画	実 績
	<p><指定管理者実施分></p> <p>①施設の維持管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理 施設の防火・防災 救急・警備・防犯 利用者の安全確保 <p>②施設の運營業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内行事の企画・調整・実施 自然公園内県営公園施設条例に基づく利用の許可及び利用料金の徴収 施設の利用促進 <p><県実施分></p> <p>①施設被災時の本格復旧</p> <p>②行政財産目的外使用許可及び許可に伴う使用料の徴収</p> <p>③協定書に定める指定管理者の業務以外</p>	<p><指定管理者実施分></p> <p>①施設維持管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプ場及びトレイルセンターの内外の清掃、設備・備品の点検確認、火の元確認、除草等を実施した。 警察・消防・病院など関係機関との連絡体制を確立し、迅速かつ的確に対応できるようにした。 施設内の巡回や利用案内・注意事項説明を行うとともに、キャンプ宿泊者が多いときは、宿直対応を行った。 <p>②施設運營業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用の受付、用具の貸出、利用者への周辺の自然情報や展示物の説明等を実施した。 利用の状況、施設の状況、利用者への対応の状況等について日報に記載し、管理人で共有し、サービスの向上につなげた。 県内高校の登山競技大会を受け入れた。 キャンプ場情報サイトへの情報提供、ホームページ掲載等を通して、利用促進を行った。 <p><県実施分></p> <p>①実施なし</p> <p>②実施なし</p> <p>③施設の修繕等 (209千円)</p>

指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価 (説明)	A
<p>○登山や自然観察の拠点として利用されている施設であり、その土地に精通した者が管理運営することで、自然とのふれあいの場としての設置目的を果たしている。</p> <p>○近年のキャンプブームやリピーターの増加によりキャンプ場の利用者数は大きく伸び、目標値を達成した。なお、トレイルセンターは例年並みの利用者数であった。</p> <p>○施設の維持管理や利用受付等は計画書記載のとおり適切に実施されており、期待した成果が上がっている。</p>	

6. 令和4年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容
<p>○新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組みつつ、安心して快適に利用できる環境を整える。</p> <p>○田代原を活用したスケッチ大会等のイベント、登山部の合宿等のイベントを検討する。また、近くで活動している「雲仙田代原レクリエーションの森管理運営協議会」のイベント利用を促す。</p>

7. 令和4年度事業の評価

視 点		評 価	施設の在り方についての評価	視 点		評 価
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a		必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている
	・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a			・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適応しているか。	■ a. 適応している b. 一部適応していない c. 適応していない
	・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a			・市町または民間に移管・移譲することが適当（可能）ではないか。	a. 適当（可能）でない ■ b. 一部適当（可能）でない c. 適当（可能）である
	・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。	a		効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない
	・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a			・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる
	・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a			有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。
(その他の観点)		・事業効果をさらに上げる余地はないか。	■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある			
			(その他の観点)			

※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

8. 令和5年度事業の実施に向けた方向性

区 分	■ 現状維持	改善	移管	廃止
(説明：令和5年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容)				
○「レクリエーションの森」として周辺牧野の活用に取り組む雲仙田代原レクリエーションの森管理運営協議会（構成：奥雲仙の自然を守る会、雲仙市、県、JA島原雲仙、長崎森林管理署、など）と連携し、イベント等での更なる施設の活用を検討していく。				
○キャンプ場の利用促進のため、様々な広報媒体へ広告掲載を依頼し、更なる利用者増を図る。また、関心を持つアウトドアメーカーとの連携を探る。				